

セポ ・ レポ ・ ハイスクール Cepo Repo ・ HighSchool

第7号 (2021年1月 発行)

地域連携教育推進室員が県立高校等に赴き、各学校の地域連携教育の取組をレポートしていきます。このレポートのタイトルである「セポ・レポ・ハイスクール」の「セポ」は「地域連携教育推進室」を表す「Community Education Promotion Office」の、「レポ」は「Report」の略称です。

県立宇部高等学校の取組



学校運営協議会の様子



CS活動推進員 大谷定弘さん



学校の教職員も交えた熟議の様子



熟議の成果物①



熟議の成果物②

山口県立宇部高等学校 第2回学校運営協議会 熟議	
グループワークⅠ	①情報の共有 (困り感・気になること)
シェアリングⅠ	「①情報」について質問
グループワークⅡ	②課題 (原因) の共有 (そもそもなぜ?)
グループワークⅢ	③手段の共有 (課題解決の向けて)
グループワークⅣ	「③手段」を実施可能時期に分類する
シェアリングⅡ	各グループの成果物を見て回る

熟議の進行内容

県立宇部高等学校では、10月12日(月)、第2回学校運営協議会において、教職員を交えた熟議を行いました。熟議とは、参加者全員が当事者意識をもって「熟慮」や「議論」を重ねながら課題解決をめざす対話のことで、地域と学校が目標やビジョンを共有していくための有効な手法です。注目!

宇部高校では、「コロナ禍において、生徒の安心・安全な学校生活を保障しながら、知・徳・体の育成に向けて学校・地域ができること」について熟議が行われました。熟議には、学校運営協議会の委員に各分掌の教職員を加えた20名が参加し、4グループに分かれて話し合いました。熟議のファシリテーターは宇部高校の教頭先生とCS活動推進員 大谷定弘さんが務めました。大谷さんは、宇部高校の元PTA会長、現学校運営協議会会長としての経験や知見を生かし、グループ参加者から思いや意見を十分に引き出すとともに、今後の学校の取組に生かせるよう集約・整理していました。注目!

熟議では、まず「コロナ禍の現在、学校の教育活動やお互いの連携活動の中で感じる困り感や気になること」をテーマとして各グループで熟議をスタートさせました。そして、

その原因となっている課題について話し合いました。熟議を深める手立てとして、困り感の原因となる課題の共有を図りました。そもそもなぜそのことが困り感につながっているのかを話し合うことで、いくつかの問題点に共通する本質的な課題が見えてきます。

ポイント！

その後、原因となる課題に対しての解決手段を話し合い、そこで出されたアイデアや意見を実施可能な時期に応じて分類していきました。

各グループからは、コロナ禍におけるストレスや学習進度の遅れ、体験活動の減少、1人1台PC端末導入への不安等が困り感や気がかりな点として挙げられました。その原因を話し合った結果、感染予防に対する意識の差やICTへの抵抗感、学校内だけでやることの限界などの課題が見えてきました。こうした課題に対して、PTAの方からは、ICTを効果的に活用していくためには家庭への情報提供と理解促進が必要であるといった意見等が出されていました。宇部高校の辻岡校長先生は、今後の学校運営に向けて、教職員だけでは気が付けなかった視点を多くいただけたことはとても有意義であったと感想をおっしゃっていました。

注目！

ポイント！

コミュニティ・スクールの機能には、学校運営の質の向上と教育活動の質の向上があります。特にコロナ禍により学校が抱える課題はますます複雑化・多様化しています。こうした状況において、コミュニティ・スクールの機能を十分発揮するために、学校運営協議会での「熟議」は大変有効なツールだといえるでしょう。

ポイント！

先生方に地域をより知っていただくために



今回の学校運営協議会の熟議には、若手の先生が主に参加し、地域の方や保護者の方と意見を交わしました。

宇部高校では、昨年度の学校運営協議会で実施した熟議には各分掌の主任の先生が参加されたとのことでしたが、今年度は若手の先生を中心に参加を呼びかけたとのことでした。

注目！

ポイント！

このように学校の様々な立場の教職員が学校運営協議会を通じて、家庭や地域とつながることには大きな意味があります。教職員が地域の人材や教育資源を知ったり、家庭・地域がもつ力を認識したりすることで、学校の教育活動の幅が広がります。また、企業や大学の方などと直接意見を交わすことは教職員自身の資質向上にも結び付きます。

ポイント！

地域の教育資源を学校が十分に生かすには、教職員一人ひとりが地域と連携するメリットを感じる必要があるのではないのでしょうか。そうした時に、ぜひ学校運営協議会で「熟議」を実施し、多くの先生方に参加してもらってはいかがでしょうか。

県立宇部高等学校の情報はこちらから→ <http://www.ube-h.ysn21.jp/>

